

Q：グループ会社となったInspiration株式会社について教えてください。

A：



Inspiration社は1997年の創業以来、輸入車メーカー、自動車ディーラー、国産メーカー向けに営業活動をサポートする、様々なサービスをワンストップで提供してきました。現在は、全国で約1,000拠点の輸入車ディーラーでInspiration社のシステムが利用されております。

そのご愛顧の理由は以下の3つになります。

- ① 自動車販売業界に特化したノウハウとサービス提供
長年、業界のWEBサイト開発、運営業務に携わった経験をベースに、コンテンツ制作やCIチェックサポート、ヘルプデスクや活用促進トレーニングなどのサービスをワンストップで承ります。
- ② オリジナルの支援ツール群による営業サポート
提案書システム（PROPO）、eDMシステム、サイネージシステム、スマートデバイスアプリ等、自動車ディーラースタッフがすぐに使える、「分かり易くて便利な」ツールを多数で提供しております。
- ③ 輸入車メーカー、ディーラーとの豊富な取引実績
WEBサービスのノウハウや各種ツール類について高いご評価を頂き、メーカー及びディーラーとの豊富な取引実績から商品・サービスにフィードバックし、より一層ニーズに即した商品・サービスに進化させています。

Inspiration社は当社と同じ業界において類似したビジネスモデルを展開しながらも、当社の顧客及び商品と全く重複がなく、互いのノウハウ・商品をそれぞれの顧客に提供することにより更に顧客ニーズを満たし、またその高い開発力によってより良い商品を提供できるものと考えています。

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
(中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同 取 次 窓 口 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 方 法 電子公告により当社ホームページ
(<https://www.slc.jp/>) に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

商 号 システム・ロケーション株式会社
英 文 社 名 System Location Co.,Ltd.
本 店 〒153-0043 東京都目黒区東山二丁目6番3号
TEL 03(6452)2864 FAX 03(5725)8775
URL <https://www.slc.jp/>
創 業 1992年7月1日
上 場 取 引 所 東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード2480)
資 本 金 191,445,000円
発行済株式総数 3,570,000株
株 主 数 680名(2023年3月31日現在)
事 業 内 容 自動車関連事業者向け業務支援
グループ従業員数 56名(2023年3月31日現在)

役 員 (2023年6月21日現在)

【取締役】

代表取締役会長 千村 岳彦
代表取締役社長 前田 格
常務取締役 内村 裕一
取 締 役 井坂 俊達
取 締 役 落合 綾子
取 締 役(社外) 柳田 一男

【監査役】

常勤監査役(社外) 後藤 清文
監 査 役(社外) 山中 雅雄
監 査 役(社外) 中谷 仁亮

株主通信 第55期 報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで



システム・ロケーション株式会社

株主の皆様には、平素より格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

第55期（2022年4月1日から2023年3月31日）における世界経済は、経済活動制限の緩和が進む一方で、ウクライナ情勢に端を発したエネルギーコストの上昇や車載向け半導体不足が長期化し、また、中国のゼロコロナ政策の影響による国内外混乱等、不透明な状況が続きました。

当社関連市場である国内自動車市場は、自動車メーカーの生産努力によって、第3四半期に比してさらに改善の傾向が見られました。新車販売台数（乗用車）は前年度比2.4%増とコロナ以降初めて前年度対比にて増加し、第4四半期である1-3月累計が前年同期比18.1%増となったこともあり、ようやく回復傾向が見てとれるようになりました。所謂“コロナ禍”前の2019年3月期の販売台数と比較した場合、当期新車販売台数は、18.6%減の水準となります。現時点において国内自動車市場が最悪期を脱した状態ではあるものの、回復傾向が力強いものかどうか、“コロナ禍”前の販売台数水準に戻る時期などの見通しは未だに不透明であり、楽観視できない環境が継続しています。そのため、当社の重要な顧客グループである新車販売事業者においては、当期を通じて所謂「新車の長納期化」という極めて厳しい環境におかれております。

中古車登録台数（乗用車）は、第4四半期である1-3月累計が前年同期比2.0%減となりましたが、新車販売台数増加の影響を受け流通台数が増加しています。当期における中古車登録台数は前期比4.6%減の水準となります。

このような中で、前期に引き続き自動車販売事業者、自動車関連金融事業者など、お客様における業務のDX化の一助となるべく、新機能追加や新商品開発の推進に取り組みましたが、新規取引において当初想定した水準を達成できませんでした。当社グループの売上は、子会社化したInspiration株式会社の寄与もあり増収となったものの、M&A費用及び企業結合会計による識別可能資産・のれん等の償却負担に加え、製品の開発・改良費用の原価増加及び償却負担増加などがグループ利益を圧迫する原因となりました。

この結果、当期における当社グループの売上高は1,696,075千円（前期比30.2%増）、営業利益は561,744千円（前期比1.5%増）、経常利益は604,296千円（前期比8.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は369,340千円（前期比12.6%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

前田 格

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2022年3月期	2023年3月期	増 減
流動資産	2,166	1,881	△285
固定資産	1,433	2,103	669
流動負債	189	250	61
固定負債	360	548	188
純資産	3,051	3,185	134
総資産	3,600	3,984	384

連結損益計算書

（単位：百万円）

	2022年3月期	構成比	2023年3月期	構成比
売上高	1,302	100.0%	1,696	100.0%
売上総利益	1,120	86.1%	1,396	82.3%
営業利益	553	42.5%	561	33.1%
経常利益	555	42.6%	604	35.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	422	32.4%	369	21.8%

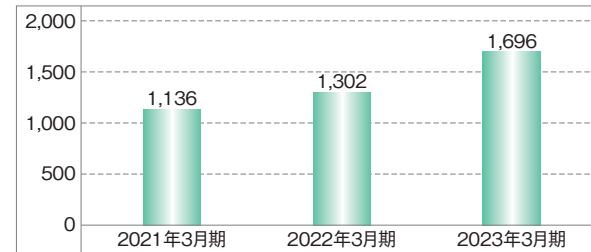
連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2022年3月期	2023年3月期	増 減
現金及び現金同等物の期首残高	1,987	1,977	△10
営業活動キャッシュ・フロー	397	596	198
投資活動キャッシュ・フロー	△300	△737	△437
財務活動キャッシュ・フロー	△109	△176	△67
現金及び現金同等物の期末残高	1,977	1,659	△318

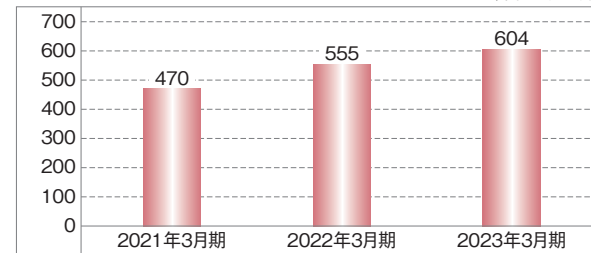
売上高

（単位：百万円）



経常利益

（単位：百万円）

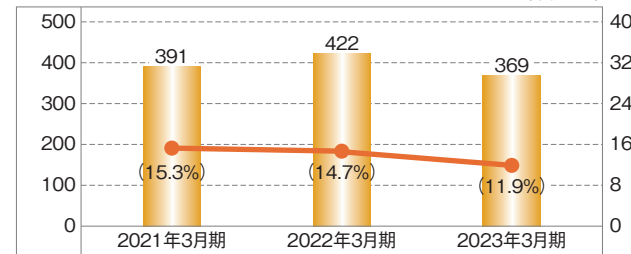


親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）

株主資本利益率(ROE)

（単位：%）



総資産／純資産

総資産 純資産

（単位：百万円）

